



編入・転入・学士入学生募集要項

2027

外国語学部

経済学部

不動産学部

ホスピタリティ・ツーリズム学部

保健医療学部

明海大学

個人情報の取り扱いについて

1. 概要

本学は、高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。

2. 個人情報の定義

個人情報とは、「個人情報の保護に関する法律」第2条の「個人情報」をいいます。

3. 個人情報の利用

本学では、本入学試験要項に記載の手続に関しご提供いただいた個人情報は、本学における入学試験の実施、合否判定、入学手続、入学準備学習および入試動向分析に利用いたします。

なお、出身の高等学校、専門学校または日本語学校の教員等からの求めに応じてその進学指導の利用に供するため、志願者、合格者および入学者の個人情報を提供する場合があります。このことについて、差し支え等がある場合は以下の「5. 問い合わせ先」までご連絡願います。

4. 入学試験成績の開示

入学試験成績に係る個人情報については、大学における業務に支障がありますので、原則として開示請求には応じられません。

5. 問い合わせ先

個人情報の取り扱いに係るお問い合わせについては、以下の入試事務室までお願いいたします。

問い合わせ先
明海大学 浦安キャンパス 入試事務室 〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目 TEL 047-355-5116 FAX 047-355-5159

2027年度 明海大学編入・転入・学士入学試験 募集要項

目 次

明海大学建学の精神	2
編入・転入・学士入学の概要	
編入・転入・学士入学	4
編入・転入・学士入学後の単位の修得	
1. 外国語学部日本語学科への編入・転入・学士入学	8
2. 外国語学部英米語学科への編入・転入・学士入学	10
3. 外国語学部中国語学科への編入・転入・学士入学	12
4. 経済学部経済学科への編入・転入・学士入学	14
5. 不動産学部不動産学科への編入・転入・学士入学	15
6. ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科への編入・転入・学士入学	17
7. 保健医療学部口腔保健学科への編入学	18
編入・転入・学士入学生募集要項	
1. 出願資格	20
2. 編入・転入・学士入学試験日程等	21
3. 出願書類	22
4. インターネット出願方法	24
5. 受験上の注意	29
6. 合格発表について	30
7. 入学手続・学費等納付金について	30
8. 入学許可後の注意事項	31
9. 入学辞退について	31
10. 奨学制度	31
様式	
2027年度明海大学編入・転入・学士入学試験学歴表	

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

編入・転入・学士入学の概要

外国語学部	日本語学科
	英米語学科
	中国語学科
経済学部	経済学科
不動産学部	不動産学科
ホスピタリティ・ ツーリズム学部	ホスピタリティ・ ツーリズム学科
保健医療学部	口腔保健学科

編入・転入・学士入学

1

編入・転入・学士入学の目的

本学の建学の精神である「国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす」のより一層の発揚を図り、社会的に高まっている生涯学習のニーズに対応することを目的として、外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部の各学科で編入・転入・学士入学試験を実施しています。編入・転入・学士入学ともに、3年次への入学となります。

2

学部・学科・募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
外 国 語	日 本 語	若 干 名
	英 米 語	
	中 国 語	
経 済	経 済	
不 動 産	不 動 産	
ホスピタリティ・ツーリズム	ホスピタリティ・ツーリズム	
保 健 医 療	口 腔 保 健	

※保健医療学部は編入学のみの募集となります。

3

編入・転入・学士入学資格

<編入学>

1. 短期大学、高等専門学校を卒業した者
2. 専修学校の専門課程、高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限り）を修了した者
3. 専修学校特定専門課程を修了した者

<転入学>

本学以外の日本の大学に継続して2年以上在学し、62単位以上修得した者

<学士入学>

学士の学位を有する者

※出願資格の詳細については、20ページ「1. 出願資格」を参照してください。

4

既修得単位の取扱いについて

1. 外国語学部、経済学部、不動産学部およびホスピタリティ・ツーリズム学部

これまで在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものととして認定します。

※詳細については、7ページ以降に記載の「編入・転入・学士入学後の単位の修得」および本学浦安キャンパス公式ホームページの「履修の手引」(<https://www.meikai.ac.jp/urayasu/manual/>)を参照してください。

2. 保健医療学部

編入学前の短期大学等において修得した単位は、当該短期大学等における学修を尊重し、62単位を本学において修得したものととして認定します。

※詳細については、18ページに記載の「保健医療学部口腔保健学科への編入学」を参照してください。

1. 外国語学部、経済学部、不動産学部およびホスピタリティ・ツーリズム学部の授業科目は大きく分けて「共通科目」と「専門科目」の2つの学修区分で編成されています。

編入・転入・学士入学生は、入学時に「共通科目」（下表の網掛け部分）の卒業要件単位が認定されるとともに、「専門科目」についても所属する学部・学科・専攻等により定められた単位が認定されます。

[●は必修、(留)は外国人留学生特別入学試験によって入学した学生対象科目、()の数字は単位数]

授業科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件単位	編入・転入・学士入学時認定単位	
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅱ-a(2) ●学修の基礎Ⅱ-b(情報リテラシー)(2)	特別科目 アカデミック日本語Ⅰ(留)(2) アカデミック日本語Ⅱ(留)(2) アカデミック日本語Ⅲ(留)(2) アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)				32	32
	人間形成	人間存在の課題(2) 記号と論理(2) 日本人の生活意識(2) スポーツ科学講義B(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2)	社会生活と倫理(2) コミュニケーション論(2) 性格とは何か(2) スポーツ科学演習A(2) ボランティア活動B(2)	文学の世界(2) 心理学(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学演習B(2)	人類と文化(2) からだと健康(2) 美とは何か(2) ボランティア講義(2)			
	国際理解	日本の歴史(2) 日本語と日本文化A(留)(2) フランス語とフランス文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 英語文化研究A(2)	国際関係論(2) 日本語と日本文化B(留)(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 英語文化研究B(2)	国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 中国語と中国文化B(2)	異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) 韓国語と韓国文化A(2) 中国語と中国文化B(2)	異文化コミュニケーション論(2) フランス語とフランス文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 中国語と中国文化B(2)		
	社会生活	法学(2) 社会思想(2) 生活と安全(2) 現代物理のはなし(2)	日本国憲法(2) 日本企業論(2) 行動科学(2) 身近な化学(2)	経済のしくみ(2) 地理と環境(2) データのまとめ方(2) 科学技術と社会(2)	社会と生活(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2)	政治のしくみ(2) 都市と生活(2) 身近な物理(2)		
キャリア形成教育	●キャリアプランニングⅠ(2)	●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)			32	32	
	<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2) 特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)							
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> <産学連携教育プログラム> ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム(寄附講座) Trip7 AIデータサイエンスプログラム(寄附講座) 浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座) 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム							
専門科目	必修					92	※注	
	選択必修	専門科目						
	選択							
合計卒業要件単位数(最低)						124	62	

※注 学部・学科・専攻等によって認定される単位数は異なります。詳細については、浦安キャンパス公式ホームページの「履修の手引」

(<https://www.meikai.ac.jp/urayasu/manual/>)を参照してください。

124 [卒業要件単位数] - {62 [包括・弾力認定] (+α)} = 62 (-α) [編入・転入・学士入学後に修得する単位]

(+α)：英米語学科および経済学科については、編入・転入・学士入学時に認定される62単位のほかに個別に単位を認定する制度があります。

2. 保健医療学部の授業科目は大きく分けて「共通科目」と「専門科目」の2つの学修区分で編成されています。

編入学生は、入学時に一部の「共通科目」と、本学の授業科目に相当する「専門科目」を修得したものと定められた単位が認定されます。

[●は必修、(留)は留学生選択科目、()の数字は単位数、網掛け部分が単位認定科目]

授業科目区分		授業科目名称	卒業要件 単位	編入学時 認定単位	
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2)、●学修の基礎Ⅱ(2)、 ●学修の基礎Ⅲ-a(2)、●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)	8	8	
	人間力 形成教育	人間形成	人間存在の課題(2)、社会生活と倫理(2)、文学の世界(2)、人類と文化(2)、 美とは何か(2)、コミュニケーション論(2)、心理学(2)、からだと健康(2)、 日本人の生活意識(2)、性格とは何か(2)、生命と遺伝子(2)、 スポーツ科学講義A(2)、スポーツ科学講義B(2)、スポーツ科学演習A(2)、 スポーツ科学演習B(2)、ボランティア講義(2)、人間形成ゼミナール(2)	4	—
		国際理解	日本の歴史(2)、国際関係論(2)、国際貢献論(2)、民族と宗教(2)、 異文化コミュニケーション論(2)、日本語と日本文化A(留)(2)、 日本語と日本文化B(留)(2)、フランス語とフランス文化A(2)、 フランス語とフランス文化B(2)、ドイツ語とドイツ文化A(2)、 ドイツ語とドイツ文化B(2)、スペイン語とスペイン文化A(2)、 スペイン語とスペイン文化B(2)、韓国語と韓国文化A(2)、 韓国語と韓国文化B(2)、中国語と中国文化A(2)、中国語と 中国文化B(2)、英語文化研究A(2)、英語文化研究B(2)、国際理解ゼミナール(2)	4	—
		社会生活	法学(2)、日本国憲法(2)、経済のしくみ(2)、政治のしくみ(2)、 自然環境論(2)、生活と安全(2)、行動科学(2)、データのまとめ方(2)、 数理の世界(2)、身近な化学(2)、社会生活ゼミナール(2)	4	—
	キャリア 形成教育	キャリアプランニングⅠ(2)、キャリアプランニングⅡ(2)、 キャリアプランニングⅢ(2)、キャリアデザイン(4)	—	—	
	特別科目	アカデミック日本語Ⅰ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅱ(留)(2)、 アカデミック日本語Ⅲ(留)(2)、アカデミック日本語Ⅳ(留)(2)	—	—	
専門科目		●医療ホスピタリティ実習(1)、●医療倫理・心理学(2)、●生物学・化学(2)、 ●解剖学(2)、●生理学(2)、●口腔解剖学(2)、●口腔生理・機能学(2)、 ●口腔組織・発生学(1)、●生化学・栄養生化学(2)、●病理学・口腔病理学(2)、 ●微生物学・口腔微生物学(2)、●薬理学・歯科薬理学(2)、●公衆衛生学(2)、 ●口腔保健学概論(2)、●歯科保存学(2)、●歯科補綴学(2)、●小児・矯正歯科学(2)、 ●歯科医療安全実習(1)、●基礎歯科予防処置論(2)、●応用歯科予防処置論(2)、 ●基礎歯科予防処置実習(1)、●応用歯科予防処置実習(1)、 ●基礎歯科保健指導論(2)、●応用歯科保健指導論(2)、●基礎歯科保健指導実習(1)、 ●応用歯科保健指導実習(1)、●歯科臨床と材料の基礎(2)、 ●基礎歯科診療補助論(2)、●臨床歯科診療補助論(2)、●基礎歯科診療補助実習(1)、 ●臨床歯科診療補助実習(1)、●歯科衛生総合実習(OSCE)(1)	105	54 (+α)	
合計卒業要件単位数(最低)			125	62 (+α)	

※ カリキュラムの詳細は、浦安キャンパスホームページの「履修の手引」(<https://www.meikai.ac.jp/urayasu/manual/>)を参照してください。

125〔卒業要件単位数〕－{62〔単位認定〕(＋α)}＝63(－α)〔編入学後に修得する単位〕

(＋α)：編入学時に認定される62単位のほかに個別に単位を認定する制度があります。

編入・転入・学士入学後の単位の修得

既修得単位の取扱い等

1. 既修得単位の取扱いについて（包括・弾力認定【62単位】）

これまでに在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものととして認定します。

2. 編入・転入・学士入学後の単位の修得（履修）について

編入・転入・学士入学後は、各専攻に分かれ、選択した専攻の「専門科目」を中心に卒業に必要な単位を満たすよう学修していくことになります。

(1) 専攻概要

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル時代に生き、グローバル化社会で活躍することをめざす学生が対象です。世界の民族、文化、宗教、言語、経済、人間等についての学修、英語・中国語・日本語でのコミュニケーション力の修得を通じ、状況に応じて柔軟に対処できる力、世代の違う人や外国人など異文化を背景とする人と適切に対応できる力、世界に貢献するための専門的な知識・経験を身につけます。
日本語専攻	日本語教育と国語教育の教員をめざします。また、大学院進学も視野にあります。 日本語教育：日本語を母語としない児童生徒、学生、成人の心豊かな生活を支える日本語教育をめざす学生、海外で日本語を教える、日本語・日本文化の理解を広める仕事をめざす学生が対象です。 国語教育：国語科教員（中学校・高等学校）として、日本文化・日本語・国語を客観的にとらえて教える、外国人生徒を指導する仕事をめざす学生が対象です。 高度な日本語力が活かせる仕事に就きたい学生も対象です。

(2) 卒業に必要な単位数

① グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数	編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	46	22	24
	選択必修	40	8	32
	選択	6	—	6
合計		124	62	62

② 日本語専攻

授業科目区分		卒業に必要な 単位数		編入・転入・学士入学時 に認定される単位数		編入・転入・学士入学後 に修得が必要な単位数	
共通科目		32		32		—	
専門科目	必修	32		22		10	
	選択必修	46	14	4	4	42	10
	選択						
合計		124		62		62	

(3) 注意事項

編入・転入・学士入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。

3. 教育職員免許状の取得について（日本語専攻のみ取得可能）

日本語学科には、中学校教諭一種免許状（国語）および高等学校教諭一種免許状（国語）が取得できる教職課程があります。編入・転入・学士入学生が免許状を取得しようとする場合、日本語専攻を選択の上、下表のとおり、教育職員免許法施行規則〔新法（平成28年改正法）〕に則した科目の履修が必要です。

ただし、旧法（平成10年改正法）又は旧々法（昭和63年改正法）を含め、これまでに在籍していた大学・短期大学で修得した教職課程関連科目がある場合、当該大学等が発行する新法（平成28年改正法）に則した「学力に関する証明書」に基づき、不足する単位を本学で履修することになります。

なお、入学前の既修得単位および編入・転入・学士入学後の履修状況等により、卒業後引き続き科目等履修生として在籍し、不足する単位を修得しなければならないことがあります。

詳細については、本学学事課（教務担当）（047-350-4993）までお問い合わせください。

教育職員免許状の取得に必要な単位数

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び単位数	教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び単位数		本学で定める最低修得単位数	
	中一種(国語)	高一種(国語)	中一種(国語)	高一種(国語)
教科及び教科の指導法に関する科目	28	24	54	48
教育の基礎的理解に関する科目等※	27	23	31	27
大学が独自に設定する科目	4	12	—	—
文部科学省令で定める科目	8	8	8	8

※教育の基礎的理解に関する科目等：「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

1. 既修得単位の取扱いについて

(1) 包括・弾力認定【62単位】

これまでに在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものととして認定します。

(2) 個別認定【 α (上限8単位)】

(1)で認定する62単位のほかに、編入・転入・学士入学前に行った知識および技能に係る審査の成果を、本学における授業科目の履修とみなし、「専門科目」の授業科目の単位として、次のとおり単位を追加認定します。

学修の種類等	認定単位数 の上限	授業科目 (単位数)
TOEFL(iBT) 64点以上 70点未満 TOEIC Listening & Reading Test 650点以上 700点未満	2	Integrated EnglishⅢ(2) Integrated EnglishⅣ(2) ReadingⅢ-a(1) ReadingⅢ-b(1) Preparation for TOEICⅡ-a(1) Preparation for TOEICⅡ-b(1)
実用英語技能検定準1級 TOEFL(iBT) 70点以上 76点未満 TOEIC Listening & Reading Test 700点以上 800点未満	4	
TOEFL(iBT) 76点以上 89点未満 TOEIC Listening & Reading Test 800点以上 945点未満	6	
実用英語技能検定1級 TOEFL(iBT) 89点以上 TOEIC Listening & Reading Test 945点以上	8	
備考 実用英語技能検定は、(公財)日本英語検定協会が実施するものとする。		

2. 編入・転入・学士入学後の単位の修得(履修)について

編入・転入・学士入学後は、各専攻に分かれ、選択した専攻の「専門科目」を中心に卒業に必要な単位を満たすよう学修していくことになります。

(1) 専攻概要

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
グローバル・スタディーズ専攻	英米語学科におけるグローバル・スタディーズ専攻は、「外国語(英語)とビジネスの専門知識」を兼ね備えた「グローバル人材」をめざす学生のための専攻です。この専攻の学生は、実践的英語運用能力を高めながら、主として英米語圏の文化とビジネスを中心に、幅広く国際教養を学んでいくことになります。卒業後の進路として、諸外国・地域と関連の深い商社、企業、国際協力に関する政府機関やNGO、そのほか幅広い業種への就職を考えている学生に相応しい専攻です。 この専攻の学生は、専門科目として、「グローバル・スタディーズ関連科目(ビジネス経済学、社会統計学などのコア科目、北アメリカ研究、ヨーロッパ研究などのグローバル科目およびフィールドワーク科目からなる)」を履修し、これからのグローバル社会でたくましく生き抜く知識とスキルを身につけることができます。
英米語専攻	英米語専攻は、特に、「外国語(英語)」と「語学教育」と「欧米の文化・社会」について深く学びたい学生のための専攻です。ただし、ビジネスシーンで活かせる中国語を身につけるための科目や「グローバル・スタディーズ関連科目(の一部)」が必修もしくは選択必修となっており、この専攻にあっても、ビジネスに関する専門知識を高めることができます。この専攻の学生は、教員のアドバイス(履修ガイダンス)を参考に、自分の卒業後の進路に特化した科目履修計画を立てることができます。 なお、教員免許の取得をめざす学生は、この専攻に所属すると同時に、所定の手続きを行って教職課程科目を履修することになります。

(2) 卒業に必要な単位数

① グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数		編入・転入・学士入学時に認定される単位数		編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32		32		—	
専門科目	必修	66		26		40	
	選択必修	24	2	4	—	20	2
	選択						
合計		124		62 (+ α)		62 (- α)	

※ α は個別認定の単位数

② 英米語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数		編入・転入・学士入学時に認定される単位数		編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32		32		—	
専門科目	必修	48		26		22	
	選択必修	40	4	4	—	36	4
	選択						
合計		124		62 (+ α)		62 (- α)	

※ α は個別認定の単位数

(3) 注意事項

編入・転入・学士入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。

3. 教育職員免許状の取得について（英米語専攻のみ取得可能）

英米語学科には、中学校教諭一種免許状（英語）および高等学校教諭一種免許状（英語）が取得できる教職課程があります。編入・転入・学士入学生が免許状を取得しようとする場合、英米語専攻を選択の上、下表のとおり、教育職員免許法施行規則〔新法（平成28年改正法）〕に則した科目の履修が必要です。

ただし、旧法（平成10年改正法）又は旧々法（昭和63年改正法）を含め、これまでに在籍していた大学・短期大学で修得した教職課程関連科目がある場合、当該大学等が発行する新法（平成28年改正法）に則した「学力に関する証明書」に基づき、不足する単位を本学で履修することになります。

なお、入学前の既修得単位および編入・転入・学士入学後の履修状況等により、卒業後引き続き科目等履修生として在籍し、不足する単位を修得しなければならないことがあります。

詳細については、本学学事課（教務担当）（047-350-4993）までお問い合わせください。

教育職員免許状の取得に必要な単位数

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び単位数	本学で定める最低修得単位数	
	中一種（英語）	高一種（英語）
教科及び教科の指導法に関する科目	28	24
教育の基礎的理解に関する科目等※	27	23
大学が独自に設定する科目	4	12
文部科学省令で定める科目	8	8

※教育の基礎的理解に関する科目等：「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

1. 既修得単位の取扱いについて（包括・弾力認定【62単位】）

これまでに在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものととして認定します。

2. 編入・転入・学士入学後の単位の修得（履修）について

編入・転入・学士入学後は、各専攻に分かれ、選択した専攻の「専門科目」を中心に卒業に必要な単位を満たすよう学修していくことになります。

(1) 専攻概要

専攻名	狙い・進路・カリキュラムの特徴等
グローバル・スタディーズ専攻	グローバル・スタディーズ専攻（GSM：Global Studies Major）では、国際的教養を身につけると同時に、グローバル時代に対応した柔軟な発想と時代の変化に適応可能な人材の育成をめざしています。異文化コミュニケーションのベースとなる中国語と英語の学修の上に、コア科目としてビジネス経済学、経営学総論、会計学総論、社会統計学、マーケティング論など、ビジネスに必須の社会系科目を学び、時代の変化に迅速に対応できる能力を身につけます。グローバル科目には北アメリカ研究やASEAN研究などの地域研究や比較文化論なども設置され、国際的視野を大きく広げることが可能です。フィールドワーク科目では、社会との結びつきを肌で感じることができます。卒業後は国内企業はもちろんのこと、国際機関や多国籍企業への就職を想定しています。
中国語専攻	中国語専攻（CLM：Chinese Language Major）では、中国語運用能力を高めるとともに、言語を通じて幅広く中国の文化・歴史・社会を理解し、現代・古典を問わず豊かな教養を身につけ、中国に精通した人材の育成を目指しています。思想、文学など、言語の奥に横たわる中国の文化を知ることで、現在の中国社会の特質をより深く理解できるほか、今後国際未来社会で生きていく上で自分のよりどころになる智恵を身につけられます。通訳・翻訳の授業や中国・台湾への長期留学の機会も用意されており、中国語運用能力を向上させることができます。また、教職課程を履修して中国語教員を目指したり、より高度な学びを極めるために大学院進学を目指す学生にも対応しています。卒業後は一般企業への就職や教員、通訳、大学院進学などを想定しています。

(2) 卒業に必要な単位数

① グローバル・スタディーズ専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数	編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	58	22	36
	選択必修	30	8	22
	選択	4	—	4
合計		124	62	62

② 中国語専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数	編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	64	26	38
	選択必修	24	4	20
	選択	4	—	4
合計		124	62	62

(3) 注意事項

- ① 編入・転入・学士入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。
- ② 編入・転入・学士入学後に履修する科目には、中国語に関する基礎学力が備わっていることを前提とする科目があります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な学修を行うためには、以下の中国語に関する基礎学力を有することが求められます。

【グローバル・スタディーズ専攻】

中国語検定4級または漢語水平考試4級程度

【中国語専攻】

中国語検定3級または漢語水平考試5級程度

3. 教育職員免許状の取得について（中国語専攻のみ取得可能）

中国語学科には、中学校教諭一種免許状（中国語）および高等学校教諭一種免許状（中国語）が取得できる教職課程があります。編入・転入・学士入学生が免許状を取得しようとする場合、中国語専攻を選択の上、下表のとおり、教育職員免許法施行規則〔新法（平成28年改正法）〕に則した科目の履修が必要です。

ただし、旧法（平成10年改正法）又は旧々法（昭和63年改正法）を含め、これまでに在籍していた大学・短期大学で修得した教職課程関連科目がある場合、当該大学等が発行する新法（平成28年改正法）に則した「学力に関する証明書」に基づき、不足する単位を本学で履修することになります。

なお、入学前の既修得単位および編入・転入・学士入学後の履修状況等により、卒業後引き続き科目等履修生として在籍し、不足する単位を修得しなければならないことがあります。

詳細については、本学学事課（教務担当）（047-350-4993）までお問い合わせください。

教育職員免許状の取得に必要な単位数

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び単位数	本学で定める最低修得単位数			
	中一種(中国語)	高一種(中国語)	中一種(中国語)	高一種(中国語)
教科及び教科の指導法に関する科目	28	24	44	40
教育の基礎的理解に関する科目等※	27	23	31	27
大学が独自に設定する科目	4	12	—	—
文部科学省令で定める科目	8	8	8	8

※教育の基礎的理解に関する科目等：「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

1. 既修得単位の取扱いについて

(1) 包括・弾力認定【62単位】

これまでで在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものと認定します。

(2) 個別認定【 α (上限8単位)】

(1)で認定する62単位のほかに、これまでで在籍していた大学・短期大学等において単位を修得した授業科目で、その内容が本学で開設する授業科目に相当し、かつ当該授業科目の単位として認定することが教育上有益と認められる場合は、8単位を上限として単位を追加認定します。

ただし、個別認定する単位数は、(1)で認定する62単位と合わせて当該大学・短期大学等において修得した総単位数を超えないものとします。

2. 編入・転入・学士入学後の単位の修得（履修）について

編入・転入・学士入学後は、経済学・経営学・会計学の3つの学問領域を軸に「コミュニティ」「グローバル」「データサイエンス」の3つの学びの視点に応じた7つの履修モデルを設定する「専門科目」を中心に卒業に必要な単位を満たすよう学修していくことになります。

(1) 卒業に必要な単位数

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数	編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数
共通科目		32	32	—
専門科目	必修	44	18	26
	選択必修	48	12	36
合計		124	62 (+ α)	62 (- α)

※ α は個別認定の単位数

(2) 注意事項

編入・転入・学士入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。

1. 既修得単位の取扱いについて

(1) 包括認定 (32単位)

これまでに在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、「共通科目」の単位について包括的に認定します。

(2) 弾力認定 (30単位)

これまでに在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、「専門科目」の授業科目を次のとおり認定します。

① 社会デザイン専攻

専門科目	不動産基礎演習	4単位
	不動産社会演習	4単位
	1年次開講必修科目弾力認定 ※1	4単位
	2年次開講必修科目弾力認定 ※2	4単位
	上記で認定する必修科目以外の必修科目、選択科目	14単位

※1 専門科目「1年次開講必修科目弾力認定」は、ライフプランと資産形成、土地と建物の金融、土地と建物の経営、土地と建物の投資、土地と建物の流通、土地と建物の開発及び土地と建物の管理（各2単位）から4単位認定する。

※2 専門科目「2年次開講必修科目弾力認定」は、法と社会 a、法と社会 b、経済と社会 a、経済と社会 b、工学と社会 a 及び工学と社会 b（各2単位）から4単位認定する。

② 不動産鑑定専攻

専門科目	不動産基礎演習	4単位
	不動産社会演習	4単位
	不動産取引演習	2単位
	1年次開講必修科目弾力認定 ※1	4単位
	2年次開講必修科目弾力認定 ※2	4単位
	上記で認定する必修科目以外の必修科目、不動産鑑定科目、選択科目	12単位

※1 専門科目「1年次開講必修科目弾力認定」は、ライフプランと資産形成、土地と建物の金融、土地と建物の経営、土地と建物の投資、土地と建物の流通、土地と建物の開発及び土地と建物の管理（各2単位）から4単位認定する。

※2 専門科目「2年次開講必修科目弾力認定」は、法と社会 a、法と社会 b、経済と社会 a、経済と社会 b、工学と社会 a 及び工学と社会 b（各2単位）から4単位認定する。

2. 編入・転入・学士入学後の単位の修得（履修）について

編入・転入・学士入学後は、各専攻に分かれ、選択した専攻の「専門科目」を中心に卒業に必要な単位を満たすよう学修していくことになります。

(1) 専攻概要

専攻名	狙い・進路
社会デザイン専攻	<ul style="list-style-type: none"> ○6分野（流通・金融・開発・投資・経営・管理）を総合的に学び、不動産を多面的にとらえる判断力を養うとともに、実践教育により課題解決力を修得する。 ○不動産業の流通・管理・企画部門・資金調達部門、金融業、不動産開発、一般企業の不動産（CRE：Corporate Real Estate）に関わる部門、まちづくり分野での活躍が期待される。
不動産鑑定専攻	<ul style="list-style-type: none"> ○①土地建物一体の証券化評価、②資産運用のコンサルティングを行うための高度な専門知識と実践力を修得する。 ○不動産鑑定会社、金融機関（信託銀行）、ディベロッパー、シンクタンク・コンサルティング会社、独立事務所開業等での活躍が期待される。

(2) 卒業に必要な単位数

① 社会デザイン専攻

授業科目区分		卒業に必要な 単位数	編入・転入・学士入学時 に認定される単位数		編入・転入・学士入学後 に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		—	
専門科目	必修	56	16	※1 14	40	※2 △14
	選択必修	8	—		8	
	選択	28	28	※1 14	28	※2 △14
合計		124	62		62	

※1 入学前の学修状況（修得科目等）により、専門科目（必修及び選択）の単位を合計14単位認定する。
 ※2 入学後に修得が必要な単位数は、専門科目（必修）40単位、専門科目（選択）28単位から※1で認定された単位数を減じた数とする。

② 不動産鑑定専攻

授業科目区分		卒業に必要な 単位数	編入・転入・学士入学時 に認定される単位数		編入・転入・学士入学後 に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		—	
専門科目	必修	66	18	※1 12	48	※2 △12
	選択	26	—		26	
合計		124	62		62	

※1 入学前の学修状況（修得科目等）により、専門科目（必修及び選択）の単位を合計12単位認定する。
 ※2 入学後に修得が必要な単位数は、専門科目（必修）48単位、専門科目（選択）26単位から※1で認定された単位数を減じた数とする。

(3) 注意事項

編入・転入・学士入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。

1. 既修得単位の取扱いについて（包括・弾力認定【62単位】）

これまでに在籍していた大学・短期大学等において修得した単位は、当該大学・短期大学等における学修を尊重し、その科目の分野等を問わず、62単位を包括・弾力的に本学において修得したものととして認定します。

2. 編入・転入・学士入学後の単位の修得（履修）について

編入・転入・学士入学後は、「専門科目」を中心に卒業に必要な単位を満たすよう学修していくことになります。

(1) 卒業に必要な単位数

① グローバル・マネジメント専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数		編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		—	
専門科目	必修	72	12	※1 14	60	※2 △14
	選択必修	20	4		16	
合計		124	62		62	

※1 入学前の学修状況（修得科目等）により、専門科目（必修及び選択必修）の単位を合計14単位認定する。

※2 入学後に修得が必要な単位数は、専門科目（必修）60単位、専門科目（選択必修）16単位から※1で認定された単位数を減じた数とする。

② 観光専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数		編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		—	
専門科目	必修	48	22		26	
	選択必修	44	8		36	
合計		124	62		62	

③ 経営情報専攻

授業科目区分		卒業に必要な単位数	編入・転入・学士入学時に認定される単位数		編入・転入・学士入学後に修得が必要な単位数	
共通科目		32	32		—	
専門科目	必修	64	16	※1 14	48	※2 △14
	選択必修	28	—		28	
合計		124	62		62	

※1 入学前の学修状況（修得科目等）により、専門科目（必修及び選択必修）の単位を合計14単位認定する。

※2 入学後に修得が必要な単位数は、専門科目（必修）48単位、専門科目（選択必修）28単位から※1で認定された単位数を減じた数とする。

(2) 注意事項

編入・転入・学士入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。

1. 既修得単位の取扱いについて

(1) 単位認定【62単位】

編入学前の短期大学等において修得した単位は、当該短期大学等における学修を尊重し、62単位を本学において修得したものと認定します。

(2) 個別認定【 α (上限 8 単位)】

(1)で認定する62単位のほかに、編入学前に短期大学等において単位を修得した授業科目で、その内容が本学で開設する授業科目に相当し、かつ当該授業科目の単位として認定することが教育上有益と認められる場合は、8単位を上限として単位を追加認定します。

ただし、個別認定する単位数は、(1)で認定する62単位と合わせて編入学前の短期大学等において修得した総単位数を超えないものとします。

2. 編入学後の単位の修得（履修）について

(1) 卒業に必要な単位数

授業科目区分	卒業に必要な単位数	編入学時に認定される単位数	編入学後に修得が必要な単位数
共通科目	20	8	12
専門科目	105	54 ($+\alpha$)	51 ($-\alpha$)
合計	125	62 ($+\alpha$)	63 ($-\alpha$)

※ α は個別認定の単位数

(2) 注意事項

編入学生は、3年生として本学での学修を開始しますが、卒業に必要な単位数を満たすためには、1・2年次配当科目の単位の修得も必要となります。このことから、卒業までの2年間で個々の目的にかなう体系的な履修を行うためには、綿密な学修計画を立て、履修した科目については確実に単位を修得することが大切です。

編入・転入・学士入学生募集要項

出願資格のいずれかに該当し、かつ、出願条件の(1)～(8)を満たす者

【出願資格】

<日本語、英米語、中国語、経済、不動産およびホスピタリティ・ツーリズム学科>

(編入学)

- ・短期大学(外国の短期大学、我が国における外国の短期大学相当として指定された学校(文部科学大臣指定外国大学(短期大学相当)日本校)を含む。)を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- ・高等専門学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
- ・専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)および2027年3月修了見込みの者
- ・専修学校特定専門課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
- ・高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)および2027年3月修了見込みの者

(転入学)

- ・本学以外の日本の大学に継続して2年以上在学し、62単位以上修得した者および2027年3月までにこれに該当する見込みの者

(学士入学)

- ・学士の学位を有する者および2027年3月までに取得見込みの者

<口腔保健学科>

- ・短期大学において歯科衛生士になるために必要な課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
- ・専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者で、歯科衛生士になるために必要な課程を修了した者に限る。)および2027年3月修了見込みの者
- ・専修学校特定専門課程を修了した者(歯科衛生士になるために必要な課程を修了した者に限る。)および2027年3月修了見込みの者

【出願条件】

- (1) 英米語学科に出願する者は、試験日から起算して2年以内にTOEIC[®]L&R公開テスト550点以上または英検CSEスコア(Reading及びListeningの合計スコア)1,014点以上を取得していること。若しくは、試験日から起算して2年以内に次に掲げる英語検定試験において、CEFR B1以上を取得していること(CEFR対照表33ページ参照)

ケンブリッジ英語検定	IELTS
ケンブリッジ英語検定 リンガスキル4技能	アカデミック・モジュール、 ジェネラルトレーニング・モジュール
実用英語技能検定 従来型、英検S-CBT、英検S-Interview	TEAP
GTEC Advanced、Basic、Core、CBT	TOEFL iBT

- (2) 経済学部に出願する者は、経済学検定B以上または日本商工会議所が実施する簿記検定2級以上に合格していること
 (3) 不動産学科に出願する者のうち、不動産鑑定専攻を希望する者は、宅地建物取引士資格試験に合格していること
 (4) ホスピタリティ・ツーリズム学科観光専攻に出願する者は、試験日から起算して2年以内に次に掲げる英語検定試験において基準点を満たしていること

試験	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定	GTEC Academic	IELTS	TEAP
基準	142点以上	1,996点以上	510点以上	4.0以上	235点以上
試験	TOEFL(iBT) [®]	TOEFL [®] Essentials	TOEIC [®] L&R/S&W		
基準	45点以上	5.0点以上	1,200点以上		

※TOEIC[®]L&R/S&Wについては、TOEIC[®]S&Wのスコアを2.5倍して合算したスコア

- (5) ホスピタリティ・ツーリズム学科経営情報専攻に出願する者は、ITパスポート資格を取得していること、かつ、試験日から起算して2年以内に次に掲げる英語検定試験において基準点を満たしていること

試験	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定	GTEC Academic	IELTS	TEAP
基準	134点以上	1,880点以上	460点以上	4.0以上	199点以上
試験	TOEFL(iBT) [®]	TOEFL [®] Essentials	TOEIC [®] L&R/S&W		
基準	45点以上	4.0点以上	900点以上		

※TOEIC[®]L&R/S&Wについては、TOEIC[®]S&Wのスコアを2.5倍して合算したスコア

- (6) ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント専攻に出願する者は、試験日から起算して2年以内にIELTS 6.5以上またはTOEFL(iBT)[®] 80点以上を取得していること
 (7) 外国人留学生は、公益財団法人日本国際教育支援協会または独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1を取得していること、またはこれに準ずる日本語能力を有していること(ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント専攻に出願する者を除く。)
 (8) 外国人留学生で、日本国内の別科および日本語学校または専門学校等に在籍中の者および在籍したことがある者は、その最終出身学校における本学が指定する期間の出席率が90%以上であること※大学および短期大学は除く。

【出席率算出方法】

出席時間数÷総授業時間数×100=90%以上(小数点以下切り捨て)

・出席率算出の指定期間

在籍中の者 ⇒ 入学から2026年8月末日まで

在籍したことがある者 ⇒ 在籍期間中すべて

※出席率の算出は時間数またはコマ数に限ります。日数による出席率は認めません。

- (注1) 出願資格に係る出身学校が海外の大学・短期大学の場合は、小学校入学から出願資格に係る学校卒業までの合計学修年数を確認する必要がありますので、出願開始前までに入試事務室へご連絡ください。
- (注2) 指定校推薦入学試験に出願する者は、出身学校における所属学科等での学修成績が本学学部指定以上の者（本学指定の有無については各自在籍する学校に照会してください。）
- (注3) 本学在学中の者は編入・転入・学士入学試験に出願することはできません。
- (注4) 英語または中国語を母語、母国語とする者はそれぞれ外国語学部英米語学科または中国語学科を志願することはできません。

2	編入・転入・学士入学試験日程等	
---	-----------------	--

1. 試験日程等

学 部	学科（専攻）	募集人員			願書受付期間	試 験 日 試験会場	合格発表日時	入学手続期限
		編入学 （一般）	編入学 （推薦）	転入学 学士入学				
外国語	日本語	若干名 （欠員補充）	若干名 （欠員補充）	若干名 （欠員補充）	10月5日(月) ～ 10月9日(金) 郵送必着	10月25日(日) 浦安キャンパス	11月1日(日) 9:00	11月19日(木)
	英米語							
	中国語							
経 済	経 済							
不動産	不動産							
ホスピタリティ・ ツーリズム	ホスピタリティ・ツーリズム （観光・経営情報） ホスピタリティ・ツーリズム （GMM）							
保健医療	口腔医療							

※GMM：グローバル・マネジメント専攻

※ホスピタリティ・ツーリズム学部のみ渡日前入学試験を実施します。本学での個別の学力審査、面接等を受けるために試験日に来日する必要はありませんが、願書受付期間、合格発表日時および入学手続期限は上記日程に準じます。

2. 試験科目・時間割等

(1) 日本国内在住者（全学部共通）

区 分	集 合 時 間	試 験 時 間 割 ・ 科 目 ・ 配 点	
編入学（一般） 転入学 学士入学	9：10	9:30～10:15	小論文（100点）
編入学（推薦）		10:15～10:45 10:45～	休憩 面接（段階評価） ※英米語学科は英語運用力診断を含む。
		9:30～	面接（段階評価） ※英米語学科は英語運用力診断を含む。

(2) 渡日前入学試験（ホスピタリティ・ツーリズム学部）

学 部	学 科（専攻）	国 籍	試 験 科 目
ホスピタリティ・ ツーリズム	ホスピタリティ・ ツーリズム （観光・経営情報）	日 本	・ 出願条件の英語検定等の成績・資格取得状況および出願書類により審査を行う。 ・ web面接
		外国籍	・ 「日本留学試験」の成績を利用 ①日本語（100点）※400点を100点に換算（記述を除く。） ②総合科目または数学（コース1）（各100点）※200点を100点に換算 両科目を受験した場合は、高得点の科目で合否判定を行う。 ・ web面接
	ホスピタリティ・ ツーリズム（GMM）	すべて	別冊の要項をご確認ください。

※GMM：グローバル・マネジメント専攻

※本学の個別の学力検査、面接等のために来日する必要はありません。出願受付後、出願時に登録したメールアドレスへweb面接の詳細を送信します。

1. 以下の①から⑥（⑦～⑨は該当者のみ）の出願書類をすべて取り揃え、入学検定料を納入後、角2サイズの任意の封筒を使用し、特定記録速達にて郵送してください。

出願書類	注意事項等
①出願確認票	インターネット出願登録後、出願確認票をプリンターで印刷し、出願確認票の下部にある写真票の所定の欄に写真を貼付してください。 写真は出願開始日から起算して3か月以内に撮影した写真（背景無地、正面上半身・腕帽のカラー写真で、縦4cm×横3cmの大きさ、裏面に受験学科・生年月日・氏名を記入）を使用してください。
②学歴表／出願申請書（巻末様式） ※インターネット出願登録後、上記①出願確認票とともにPDFで印刷されます。	次の事項に留意し、黒のボールペンで記入してください。 (1) 日本の小学校、中学校を卒業した者は、高校入学から現在に至るすべての学校について記入してください。 (2) 上記以外の者は、小学校入学から現在に至るすべての学校について記入してください。 (3) 学歴の記入に当たっては、学校名・学部・学科等を入学年月および卒業（見込）年月ごとに分けて、それぞれを正式名称で記入してください。 (4) 学歴および職歴に空白期間（学校の休暇期間を除く。）がある場合は、その期間の活動内容を備考欄に詳細に記入してください。 (5) 出願申請書も記入してください。
③卒業・在学に関する証明書類 ※出願資格に係る学校が作成したもの	以下のいずれかに該当する証明書類を提出してください。 ①卒業見込み者…卒業見込証明書 ②卒業者…卒業証明書 ③出願資格が転入学に該当する者…在学証明書または在学期間証明書 【注】 (1) 出願開始日から起算して6か月以内に作成された証明書類を提出してください。 (2) 出願資格に係る出身学校が専修学校の専門課程の者は、上記に加え、専門士取得（見込）証明書も提出してください。 (3) 出願資格に係る出身学校が海外の者は、英語で作成された証明書の原本を提出してください。 英語で作成された証明書が発行できない場合は、母国語で作成された証明書または卒業証書の原本を提出してください。なお、提出書類が英語または中国語以外の言語で作成されている場合は、当該書類の日本語訳または英語訳（翻訳の日付、翻訳者を記載し、公的機関の内容証明印が押印してあるもの）を一緒に提出してください。
④学業成績証明書等 ※出願資格に係る学校が作成したもの	(1) 出願開始日から起算して6か月以内に発行されたものを提出してください。 (2) 出願資格に係る出身学校に在籍中の者は、在籍する学年の提出可能な直近の学期までの成績が記載された成績証明書を提出してください。 (3) 出願資格が転入学に該当する者で、出願資格に定められた単位数の修得を成績証明書だけで証明できない場合は、現在履修中の科目および単位数が記載された証明書（単位修得見込証明書、履修証明書等）を一緒に提出してください。 (4) 出願資格に係る出身学校が海外の者は英語で作成された成績証明書の原本を提出してください。 英語で作成された成績証明書の原本が提出できない場合は、母国語で作成された原本を提出してください。なお、提出書類が英語または中国語以外の言語で作成されている場合は、当該書類の日本語訳または英語訳（翻訳の日付、翻訳者を記載し、公的機関の内容証明印が押印してあるもの）を一緒に提出してください。 (5) 教育制度上、成績証明書が卒業時にしか発行されない者は、その原本を提出してください。提出された原本は試験日に志願者に返却します。
⑤出願要件に係る資格試験等の合格証書等 ※英米語学科、経済学科、不動産学科不動産鑑定専攻およびホスピタリティ・ツーリズム学科に出願する者のみ	原本を提出してください。なお、原本は、出願資格確認後返却します。

(次ページに続く)

⑥推薦書 [本学所定様式] ※指定校推薦受験者のみ	出願資格に係る出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※ 推薦書 (本学所定様式) は、各指定校宛てに事前 ^に 送付されますので、各自学校でご確認ください。
※外国人留学生は、①～⑥のほか ^に 以下の書類が必要 ^{です} 。	
日本語能力を示す証明書等	日本語能力試験N1の証明書等を提出してください。 なお、日本語能力試験の結果について、明海大学が日本国際教育支援協会等の実施者へ真偽の確認をすることに同意した上で証明書を提出してください。 ※ 日本語能力試験N1を取得していない場合は、出願開始前までに浦安キャンパス入試事務室にご連絡ください。
住民票	氏名、生年月日、現住所のほか、国籍等、住民基本台帳法第30条の45規定区分、在留資格、在留期間満了の日、在留カードの番号が記載されているもので、出願開始日から3か月以内に発行された書類を提出してください。 ・在留期限の過ぎた住民票および在留カード (外国人登録証明書) のコピーは受理しません。 ・個人番号 (マイナンバー) は必ず省略してください。
⑦その他 日本国内における最終出身学校の証明書 ・出席率証明書 ・卒業 (見込) 証明書 ・成績証明書	該当者のみ 【出席率証明書】 出席率算出方法 $出席時間数 \div 総授業時間数 \times 100 = 90\%$ 以上 (小数点以下切捨て) (1) 出席率算出の指定範囲は、在籍中の者は入学から2026年8月末日まで、既卒または中退した者は在籍期間中すべてとします。 (2) 出席率の算出は時間数またはコマ数に限ります。日数で算出した出席率証明書は受理しません。 ※ 最終出身学校が短期大学の者は、提出不要です。 【卒業 (見込) 証明書、成績証明書】 日本国内における最終出身学校長が証明した書類 (証明書) で、出願開始日から3か月以内に発行し、厳封されたものを提出してください。
※ホスピタリティ・ツーリズム学部渡日前入学試験受験者は、①～⑦のほか ^に 以下の書類が必要 ^{です} 。	
⑧パスポートのコピー ※留学生のみ	氏名、国籍、パスポートNo、発行年月日記載部分のコピー (A4縦向き) を提出してください。
⑨日本留学試験受験番号 ※観光専攻および経営情報専攻受験の留学生のみ	2024年11月以降に受験した、日本留学試験の受験番号を願書受付期間中にnyushi-urayasu@meikai.ac.jpへご連絡ください。複数回受験した者は、成績利用を希望する1回分のみ提出してください。

2. 注意事項

- (1) 本学ホームページからインターネット出願をしてください。インターネット出願登録後、必要書類を印刷し、志願者本人が書類を記入・作成してください。
- (2) 志願者本人が記入する書類については、黒のボールペンを使用してください。
- (3) 出願書類受付後は、志願学部・学科等の変更は一切認めません。
- (4) 成績証明書、卒業証明書、その他証明書類は、原則として出願開始日から6か月以内に発行されたものとします。(発行日がない書類は不可)
- (5) 身体上の理由で、受験に際し特別な配慮を必要とする者は、出願受付開始前までに入試事務室に問い合わせてください。なお、健康状況の把握のため、医師の作成した健康診断書を提出していただくことがあります。
- (6) 一度受け付けた出願書類は、理由のいかんにかかわらず返却しません。ただし、外国人留学生の最終出身学校等発行の証書 (原本) については、試験日当日に返却します。
- (7) 氏名の変更等により、卒業証書等の記載内容が実際と異なっている者は、住民票等、変更前と変更後の内容が分かる書類を提出してください。
- (8) 出願資格の確認等のため、指定されたもの以外の書類の提出を求めることがあります。
- (9) 出願書類に記入漏れや記入誤り等の不備や不足があった場合は、出願書類は受理できません。
- (10) 提出された書類について、後日、虚偽の事実が発覚した場合は受験・入学を取り消します。
- (11) 出願書類は、出願最終日の17時までに本学に届くよう郵送してください。出願最終日の17時以降に届いた出願書類については受け付けません。また、窓口^に持参する場合も、出願最終日の17時までとします。
- (12) ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科グローバル・マネジメント専攻の渡日前入書類学試験については、別冊の要項をご確認ください。

3. 出願書類提出先

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目 明海大学浦安キャンパス入試事務室

【インターネット出願前の準備】

1. 本入学試験は、インターネット出願となります。
2. 必要となる出願書類は22、23ページを確認してください。
3. 以下のものを事前に準備してください。
 - ①インターネットにアクセスできるパソコン
 - ②そのパソコンから印刷が可能なプリンター
 - ③メールアドレス（登録に必須です。受験者が常時受信可能なアドレスをご用意ください。）
 - ④封筒（市販の角2サイズの封筒）
- ※ スマートフォンやタブレット端末からも出願できますが、利用する機種により画面が正常に表示されない場合があるため、パソコンからの出願を推奨します。
- ※ プリンターが接続されていない機器（スマートフォン等）で出願した場合の印刷方法に関する問い合わせには、本学は応じません。
4. 入学検定料の支払い方法を「クレジットカード決済」「コンビニエンスストア（ペイジーを含む。）」から選択できます。
5. インターネット出願の際は、明海大学公式ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」を必ず事前に確認してください。（2026年8月に掲載予定です。）

【インターネット出願登録期間】

2026年10月5日(月)9時～2026年10月9日(金)13時

インターネット出願の流れ

STEP 1 明海大学公式ホームページにアクセス (<https://www.meikai.ac.jp>)

明海大学公式ホームページのトップ画面にある **受験生の方へ** → **入試情報** → **インターネット出願(浦安)** をクリックしてください。(インターネット出願のサイトは2026年8月にオープン予定です。)

STEP 2 画面の指示に従って必要な情報を入力してください。

画面は実際のものとは異なる場合があります。

1. 出願する入学試験区分を選択

2. 試験日・学科等を選択

※出願登録完了後は試験日・志願学科・受験会場等、入力内容の変更はできません。最終確認画面で必ず確認の上、出願登録してください。

3. 志願者情報を入力

<注意事項>

【氏名】

- 氏名(ローマ字)は次ページの「ヘボン式ローマ字一覧」を参照し、すべて大文字で入力してください。
- 外国籍の者は「氏名(ローマ字)」は、パスポート表記で入力してください。
- 日本国籍であっても、両親のいずれかが外国人であることなどにより、非ヘボン式ローマ字表記でパスポートに記載している場合は、パスポートに合わせてください。なお、根拠資料としてパスポートのコピーを提出してください。
- 入力した氏名は、入学後は学籍上の氏名となります。
- 外国籍等で漢字表記がない場合は、「氏名(漢字)」は、カタカナで入力してください。
- 異体字、旧字体等で入力している場合は、電算処理上、常用漢字またはカタカナに置き換える場合があります。なお、合格通知書および入学許可書の書類は置き換え後の氏名で発行されます。
- 氏名が長く、すべて入力できない場合は、入力できる部分まで入力してください。

【電話番号・メールアドレス】

- 出願書類について確認する必要がある場合に連絡先として使用します。必ず志願者本人の電話番号およびメールアドレスを入力してください。
- メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。

【住所】

- 必ず、大学からの郵便物を受け取り可能な住所を入力してください。

【ユーザID・パスワード】

- 初回出願時にユーザ登録を行うことで、出願完了後、出願状況確認をすることができ、出願確認票等をいつでも印刷することができます。
- 受験票の確認・印刷に必要となります。
- 2回目以降の出願時に「志願者情報」の入力内容が引き継がれます。

ヘボン式ローマ字一覧

あ	い	う	え	お		きゃ	きゅ	きょ
A	I	U	E	O		KYA	KYU	KYO
か	き	く	け	こ		しゃ	しゅ	しょ
KA	KI	KU	KE	KO		SHA	SHU	SHO
さ	し	す	せ	そ		ちゃ	ちゅ	ちょ
SA	SHI	SU	SE	SO		CHA	CHU	CHO
た	ち	つ	て	と		にゃ	にゅ	にょ
TA	CHI	TSU	TE	TO		NYA	NYU	NYO
な	に	ぬ	ね	の		ひゃ	ひゅ	ひょ
NA	NI	NU	NE	NO		HYA	HYU	HYO
は	ひ	ふ	へ	ほ		みゃ	みゅ	みょ
HA	HI	FU	HE	HO		MYA	MYU	MYO
ま	み	む	め	も		りゃ	りゅ	りょ
MA	MI	MU	ME	MO		RYA	RYU	RYO
や		ゆ		よ		ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
YA		YU		YO		GYA	GYU	GYO
ら	り	る	れ	ろ		じゃ	じゅ	じょ
RA	RI	RU	RE	RO		JA	JU	JO
わ		を		ん		びゃ	びゅ	びょ
WA		O		N (M)		BYA	BYU	BYO
						ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
						PYA	PYU	PYO
が	ぎ	ぐ	げ	ご				
GA	GI	GU	GE	GO				
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ				
ZA	JI	ZU	ZE	ZO				
だ	ぢ	づ	で	ど				
DA	JI	ZU	DE	DO				
ば	び	ぶ	べ	ぼ				
BA	BI	BU	BE	BO				
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ				
PA	PI	PU	PE	PO				

【注意事項】

- ・長音は表記しない。
 (ア) 長音(ー)に対するローマ字は不要(前の母音で代用)
 おおの: ONO (~~ONNO~~) とうじょう: TOJO (~~TOUJOU~~) ようこ: YOKO (~~YOUKO~~)
- (イ) 「ウウ」の発音になる文字は「U」一文字で表記
 しゅういち: SHUICHI (~~SHUUICHI~~) ゆうこ: YUKO (~~YUUKO~~)
- ・促音「っ」は子音を重ねて示す。
 はっとり: HATTORI きっかわ: KIKKAWA
 ただし、「CH」の前では「T」で表記する。
 えっちゅう: ETCHU はっちょう: HATCHO
- ・「ん」は「N」で表記する。ただし「B」「M」「P」の前には「N」の代わりに「M」をおく。
 ほんま: HOMMA なんば: NAMBA さんぺい: SAMPEI

STEP 3 入学検定料の支払い & 出願確認票の印刷

1. 支払方法を選択

- クレジットカードまたはコンビニエンスストア（ペイジーを含む。）から選択してください。
- コンビニエンスストア（ペイジーを含む。）での支払いを選択した場合、出願登録後**48時間以内**に入学検定料をお支払いください。48時間を過ぎると登録内容が取り消されます。取り消された場合、再度出願登録からやり直してください。
- 出願最終日の支払期限は**15時まで**となりますので注意してください。（クレジットカードでの支払いは、出願登録時に同時決済となります。）
- 入学検定料は30,000円です。
- 一旦納入された入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。
- 納入に係る手数料は志願者の負担となります。
- 入学検定料を現金・為替等により本学へ持参、郵送しても受理しません。

STEP 6 受験票の確認・印刷

1. 出願サイトの利用案内画面から登録済みのユーザID・パスワードを入力し、「出願状況確認」を選択

- インターネット出願への登録および出願書類が受理されると、受験票公開日以降に受験票の印刷が行えるようになります。
- 受験票公開日は、試験日3日前の午前9時です。
(例) 試験日が日曜日の場合、木曜日午前9時に公開
- 受験票はA4の白い紙に印刷してください。裏紙等は使用しないでください。
- 印刷の際、拡大・縮小等はせず、印刷倍率100%で印刷してください。
- 受験票は、試験日ごとに1部発行されます。必ず、試験当日分の受験票を折り線部分で折った上で、忘れずに持参してください。
- 受験票に記載してある受験番号、集合時間、注意事項等を必ず確認してください。
- 大学から受験票は郵送しません。
- 受験票（裏面も含む。）には一切の書き込みを禁止します。書き込みされていることが発覚した場合、不正行為となる場合があります。

2. 出願受付番号のリンクを選択

3. 受験票の印刷

【受験会場の下見について】

自宅等から受験会場までの経路、所要時間等の確認は必要に応じて各自で行ってください。ただし、試験前日の受験会場内の見学はできません。

【試験日当日の注意事項】 ※試験日までに必ずお読みください。

1. 試験日は、集合時間までに指定された試験室に集合してください。試験室は、当日の案内掲示で確認してください。
2. 試験開始から30分以上遅刻した場合は受験できません。ただし、公共交通機関の運休・遅延等、やむを得ない事情による遅刻については受験を認める場合があります。運休・遅延により遅刻する場合は、速やかに受験票に記載された電話番号に連絡してください。
3. 試験会場には、保護者等の付添者の立ち入りはできません。受験生も本学で指示した以外の試験室および学内施設に立ち入ることは禁止します。なお、学内駐車場および駐輪場は使用できません。
4. 試験日当日の携行品は以下のとおりです。(上履きを持参する必要はありません)
 - ① 受験票（持参できなかった場合は、係員に速やかに申し出てください。）
 - ② 筆記用具
小論文を受験する者は、鉛筆（HBまたはB）とプラスチック消しゴムを持参してください。なお、下敷きおよび電算機に類する機能を備えた筆記用具等の使用は一切認めません。
 - ③ その他、本学より携行を指示されたもの
5. 本学の試験室は時計が設置されていません。時計が必要な者は持参してください。ただし、大型の時計、アラーム付時計、電算機に類する機能を備えた時計、携帯電話、スマートフォン等の電子機器類および音の出る機器を時計代わりに使用することは認めません。
6. 受験の際は、上記4および5で許可された携行品以外のものを机の上に置くことはできません。
7. 試験（面接）が終了するまでは、特別な事情がない限り、試験室（面接室）から退出できません。
8. 試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行うことがありますので、各自、上着等を持参してください。
9. 面接は、受験番号順に実施されるとは限りません。面接順の疑義には、一切応じません。
10. 試験が午後まで実施される場合は、各自の判断により昼食を持参してください。学内および学外の飲食店や売店は試験日や時間帯によっては利用できない場合があります。
11. その他、試験会場内では監督者および係員の指示に従ってください。監督者および係員の指示に従わない場合は不正行為とみなし、試験会場から退出させる場合があります。
12. 試験終了後は速やかに試験会場から退出してください。同行者等との待ち合わせ等は、学外で行ってください。
13. 試験日当日に、試験会場や最寄り駅の周辺で物品の販売、チラシ・パンフレットの配布等を行う者がいても、本学とは一切関係がありません。事故等が生じた場合、本学では一切の責任を負いませんので、注意してください。
14. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、はしか、新型コロナウイルス等）にかかり、治癒等による出席停止の期間が経過していない場合、他の受験生等への感染のおそれがありますので、試験を受験することはできません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。

合格発表について

1. 合格結果は本学公式ホームページで確認してください。合格発表日の9時から入学手続期限日まで確認することができます。

ホームページURL <https://www.meikai.ac.jp>

受験生の方へ → インターネット合格発表

2. 本学から合格通知書類の郵送はありません。入学手続用サイトのマイページにログインし、ご自身で合格通知書類等をダウンロード・印刷する必要があります。詳細は入学手続用サイトに掲載する入学手続案内書で確認してください。
3. 指定校推薦で志願した者の合格結果を各指定学校長宛てに通知します。個人情報の取り扱いについては、表紙裏の「個人情報の取り扱いについて」を参照してください。
4. 合格についての電話での問い合わせには、一切応じません。

入学手続・学費等納付金について

【入学手続上の注意】

- 合格者は、所定の期限までに①学費等納付金を納入の上、②入学者情報・保証人情報等を登録し、③入学手続書類を提出する必要があります。所定の期限までに①～③の入学手続が完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学資格が取り消されます。
- 学費等納付金は、入学手続期限までに全額を納入してください。納入額は、下表で確認してください。振り込みの際に必要な振込依頼書は、入学手続用サイトからダウンロード・印刷し、手続期間内に振り込んでください。
- 入学手続の方法および必要書類は、入学手続用サイトに掲載する入学手続案内書で確認してください。
- 入学手続を完了した者は、入学手続用サイトから入学許可書をダウンロードすることができます。
- 一度提出された入学手続書類は、原則として返却しません。
- 入学手続を行うには、保証人が必要となります。保証人は原則として日本国内に在住し独立して生計を立てている者とし、特に、外国籍の者を保証人とする場合は、上記の条件に加え、日本に5年以上在住し日本語が堪能である者とし、保証人を定められない場合は、入学許可書を発行しない場合があります。
- 外国人留学生の入学者は2027年4月以降、原則として「留学」の在留資格で本学に在籍することになりますが、在留資格が「家族滞在」「定住者」「永住者」「日本人の配偶者等」等の者は、大学入学のために在留資格を変更する必要はありません。ただし、在留資格が「留学」以外の場合は、外国人留学生対象の授業料減免制度や奨学金対象外となります。

なお、入学手続を完了したが査証未取得のため3月31日までに入国できない者については、入学辞退者として取り扱い、入学金を含めた学費等納付金を全額返還します。

【学費等納付金】

2027年度編入・転入・学士入学生

(単位：円)

費目	納入時期	外国語学部／経済学部／ 不動産学部		ホスピタリティツーリズム学部 観光専攻／経営情報専攻		ホスピタリティツーリズム学科 グローバル・マネジメント専攻		保健医療学部		
		入学手続時 (4年次は4月)	10月	入学手続時 (4年次は4月)	10月	入学手続時 (4年次は4月)	10月	入学手続時 (4年次は4月)	10月	
		初年度納付金	学費	入学金	230,000	—	230,000	—	230,000	—
授業料	349,000			349,000	349,000	349,000	349,000	349,000	349,000	349,000
施設維持費	120,000			120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
教育充実費	—			—	50,000	50,000	100,000	100,000	100,000	100,000
計①	699,000			469,000	749,000	519,000	799,000	569,000	799,000	569,000
諸会費等	教育後援会費		20,000	—	20,000	—	20,000	—	20,000	—
	学友会費		5,000	—	5,000	—	5,000	—	5,000	—
	同窓会入会金		10,000	—	10,000	—	10,000	—	10,000	—
	学生教育研究 災害傷害保険料		1,200	—	1,200	—	1,200	—	1,200	—
	計②		36,200	—	36,200	—	36,200	—	36,200	—
計(①+②)	735,200	469,000	785,200	519,000	835,200	569,000	835,200	569,000		
年額計	1,204,200		1,304,200		1,404,200		1,404,200			
4年次	学費	授業料	349,000	349,000	349,000	349,000	349,000	349,000	349,000	349,000
		施設維持費	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		教育充実費	—	—	50,000	50,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		計①	469,000	469,000	519,000	519,000	569,000	569,000	569,000	569,000
	諸会費等	教育後援会費	20,000	—	20,000	—	20,000	—	20,000	—
		学友会費	5,000	—	5,000	—	5,000	—	5,000	—
		同窓会入会金	—	30,000	—	30,000	—	30,000	—	30,000
		計②	25,000	30,000	25,000	30,000	25,000	30,000	25,000	30,000
	計(①+②)	494,000	499,000	544,000	549,000	594,000	599,000	594,000	599,000	
	年額計	993,000		1,093,000		1,193,000		1,193,000		

- (1) 同窓会入会金は、入学手続き時に本学同窓会の準会員資格を得るために10,000円を納入、編入・転入・学士入学後2年目の10月に終身会員になるための30,000円を納入していただきます。
- (2) 本学は、学生教育研究災害傷害保険の賛助会員となっており、学生は入学時に自動加入となります。
- (3) 本学別科日本語研修課程に在籍している者で、2027年3月に修了見込みの者は、入学金（230,000円）を免除します。
- (4) 保健医療学部の教材および実験・実習のための指定器具、材料費等は含まれていません。

8

入学許可後の注意事項

1. 入学を許可された者が、2027年3月31日までに出願資格に係る学校等を卒業できない場合等、出願資格を満たすことができない場合は、入学許可を取り消します。
2. 入学許可後、2027年3月31日までに、入学を許可された者が事件・事故の当事者となる等、本学学生としてふさわしくないと判断される場合、本学に提出した書類に虚偽の事実が発覚した場合は、入学許可を取り消します。

9

入学辞退について

入学手続き後は、原則として納付済みの「学費等納付金」は返還しません。ただし、都合により入学を辞退する場合は、2027年3月31日（水）17時までに本学学長宛ての文書（入学手続き用サイトに掲載する入学手続き案内書巻末の「入学辞退届」に必要事項を記入のこと）にて浦安キャンパス入試事務室に申し出てください（郵送可）。納入済みの「学費等納付金」のうち入学金以外を返還します。

なお、返還には文書受付後3週間ほどの日数を要します。

10

奨学制度

日本学生支援機構の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金や地方公共団体等からの奨学金制度があり、学業成績および人物がともに優秀であるにもかかわらず、経済的理由により学業を継続することが困難で、各奨学金制度の基準にあてはまる者に対して、本学の推薦により奨学金が給付または貸与されます。詳細については、浦安キャンパス学生支援課（学生支援担当）にお問い合わせください。（電話047-350-4994）

1 貸与型奨学金

種別	貸与額（月額）	
	自宅通学者	自宅外通学者
第一種（無利子）	20,000円、30,000円、40,000円または54,000円から選択	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円または64,000円から選択
第二種（有利子）	20,000円～120,000円（10,000円単位）から選択	

2 給付奨学金・授業料等減免

意欲と能力のある若者が経済的理由により進学を断念することのないよう、原則として返還義務のない奨学金を支給する制度です。

世帯の所得金額に基づく区分に応じて支給金額が異なります。

給付奨学金対象は、授業料等減免の手続を行うことで、授業料等減免を同時に受けることができます。

1子・2子世帯 (資産要件：授業料等減免・給付奨学金とも5,000万円未満)				
所得区分 (年収目安)	支給区分 (呼称)	給付奨学金支給額		授業料等減免支援額
		自宅通学者	自宅外通学者	
①～270万円	第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円	授業料減免上限額の70万円まで 入学金減免上限額の26万円まで(新入生)
②～300万円	第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円	第Ⅰ区分の減免額の2/3
③～380万円	第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円	第Ⅰ区分の減免額の1/3

多子世帯 (資産要件：授業料等減免3億円未満、給付奨学金5,000万円未満)				
所得区分 (年収目安)	支給区分 (呼称)	給付奨学金支給額		授業料等減免支援額
		自宅通学者	自宅外通学者	
①～270万円	第Ⅰ区分 (多子世帯)	38,300円 (42,500円)	75,800円	授業料減免上限額の70万円まで 入学金減免上限額の26万円まで(新入生)
②～300万円	第Ⅱ区分 (多子世帯)	25,600円 (28,400円)	50,600円	
③～380万円	第Ⅲ区分 (多子世帯)	12,800円 (14,200円)	25,300円	
④～600万円	第Ⅳ区分 (多子世帯)	9,600円 (10,700円)	19,000円	
⑤600万円～	多子世帯	0円	0円	

※1 ()の金額は、生活保護世帯で自宅から通学する者及び児童養護施設等から通学する者になります。

※2 多子世帯において資産額が5,000万円以上の場合、給付奨学金の支給はありません。

※3 授業料等減免のみの支援となる者については、授業料等減免の適格認定(家計)に係る情報提供のため、給付奨学生として採用します。

留学生を対象とした奨学制度

明海大学私費外国人留学生授業料減免制度(対象学部：外国語学部、経済学部、不動産学部、保健医療学部)

学業成績および人物がともに優秀であり、在留資格が「留学」である私費外国人留学生で、経済的諸事情により修学に専念することが困難になった者を対象に授業料の一部を減免(減免率30%)し、経済的負担の軽減を図ることを目的としています。

(注) 1 本学派遣の長期留学生として留学した者、留年した者(当該年度のみ)、休学中の者は、当該減免制度の対象にはなりません。

2 一定の学業成績を有し、修学態度が良好な者が対象です。

英語検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省作成「各資格・検定試験とCEFRとの対照表(平成30年3月)」より作成

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 従来型、英検S-CBT、英検S-Interview	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TOEFL iBT®
C2	230 200 (230) (210)	各級CEFR 算出範囲 (3299) 2630		9.0 8.5		120 114
C1	199 180 (190)	C2 Proficiency (180) C1 Advanced (180) B2 First/for Schools (160)	1400 1350	8.0 7.0	400 375	113 95
B2	179 160 (170)	B1 Preliminary/for Schools (140)	1349 1180	6.5 5.5	374 309	94 72
B1	159 140 (150)	A2 Key/for Schools (120)	1179 930	5.0 4.0	308 225	71 42
A2	139 120	B1 Preliminary/for Schools (120) B2 First/for Schools (140) C1 Advanced (180) C2 Proficiency (180)	929 680		224 135	
A1	119 100 (100)	A2 Key/for Schools (120) B1 Preliminary/for Schools (140) B2 First/for Schools (160) C1 Advanced (180) C2 Proficiency (180)	679 260			

◻ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

memo

2027年度 明海大学編入・転入・学士入学試験学歴表

記入日 2026年 月 日

入試区分	<input type="checkbox"/> 編入学	<input type="checkbox"/> 転入学	<input type="checkbox"/> 学士入学	写真貼付 1.カラー写真 2.正面・上半身・脱帽で 3か月以内撮影のもの 3.背景無地 4.縦4cm×横3cm 5.加工していないもの 6.裏面に氏名を記入		
志願学部・学科	学部					学科
志願する専攻 ※該当学科のみ記入	【不動産学科】 <input type="checkbox"/> 社会デザイン専攻 <input type="checkbox"/> 不動産鑑定専攻 【ホスピタリティ・ツーリズム学科】 <input type="checkbox"/> 観光専攻 <input type="checkbox"/> 経営情報専攻 <input type="checkbox"/> グローバル・マネジメント専攻					
フリガナ						
氏名						
生年月日	西暦	年	月	日	年齢	歳
性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	国籍	※外国籍の者のみ記入		
学歴 [P22 の出願書類を参照し、入学年月および卒業（見込）年月ごとに分けて、学校名・学部・学科等を正式名称で記入してください。なお、学歴に空白期間がある場合は、必ず備考欄にその理由を具体的に記入してください。]						
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
年	月					
職歴 [職歴に6か月以上の空白期間がある場合は、必ず備考欄にその理由を具体的に記入してください。]						
年	月～	年	月			
年	月～	年	月			
年	月～	年	月			
資格取得・免許等						
年	月			年	月	
年	月			年	月	
備考 [上記に記入した学歴および職歴等で、空白期間（学校の休暇期間を除く。）がある者は具体的に記入してください。]						
年	月					
年	月					
年	月					

試験会場案内

明海大学浦安キャンパス



◎所在地／千葉県浦安市明海1丁目

◎経路

①JR京葉線・武蔵野線「新浦安駅」下車

徒歩約8分

②東京メトロ東西線「浦安駅」下車

京成バス千葉ウエスト③⑪⑱系統「浦安駅入口」より

約15分乗車「明海大学前」下車

● 浦安キャンパス

外国語学部/経済学部/不動産学部/ホスピタリティ・ツーリズム学部/保健医療学部
大学院 (応用言語学研究科・経済学研究科・不動産学研究科)

別科 (日本語研修課程)

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目 明海大学浦安キャンパス入試事務室

電話/047-355-5116 (直通)

FAX/047-355-5159

E-mail/nyushi-urayasu@meikai.ac.jp

● 坂戸キャンパス

歯学部

大学院 (歯学研究科)

〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台1番1号 明海大学歯学部入試事務室

電話/049-279-2852 (直通)

FAX/049-271-0612

E-mail/d-nyushi@dent.meikai.ac.jp

● 本誌に関するお問い合わせ先

企画広報課

〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目

電話/047-355-1101

FAX/047-355-0999

● ホームページアドレス <https://www.meikai.ac.jp>

